

このメールは大田区の配信情報提供サービスに登録されている方に送信しています。

大田区保健所メール 7 月号 令和 7 年 6 月 27 日

【 目 次 】

- 1 感染症情報
- 2 食中毒発生状況
- 3 トピックス
猫の適正飼養教室
ハチの巣に関する相談専用電話<開設中！>
- 4 特集
蚊の対策をしましょう！

1 感染症情報

◆感染症の最新情報はこちらから◆

↓↓↓

○大田区「感染症週報」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/syuuhou.html

◆◆◆感染症流行状況について◆◆◆

定点報告疾患の中で、水痘の患者発生状況は第 22 週（5 月 26 日から 6 月 1 日）で 1.69 と注意報レベルでした。水痘は潜伏期間が 10～21 日と長いのが特徴です。引き続きご注意ください。急性呼吸器感染症は、第 22 週 35.10 から第 23 週 36.76 と微増傾向です。

◆◆◆百日咳にご注意ください！！◆◆◆

百日咳の発生届について、大田区では令和 6 年の 1 年間で計 13 名の報告がありましたが、令和 7 年は 6 月 16 日時点で既に 56 名の報告があり、昨年の感染者数を大幅に超えています。特に小中学生の発生が多くなっています。

【百日咳】

百日咳菌による気道感染症で、かぜ症状で始まり、発作性・けいれん性の咳が数週間続きます。百日咳菌が含まれた咳やくしゃみを吸い込んだり（飛沫感染）、手についた百日咳菌が口に入ったりする（接触感染）ことで感染します。軽症でも咳症状のある期間は、菌を排出しています。乳児の場合、無呼吸発作など重篤になることがあるため、注意が必要です。

風邪症状があり、周囲に百日咳と診断がついた人がいた場合や、長引く咳が続く場合など

は、早めに医療機関を受診しましょう。乳幼児には定期予防接種が行われています。予防接種による免疫効果の持続は5年～10年です。

○大田区「百日咳」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/hyaku_nichi.html

○大田区「混合ワクチン予防接種」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/yobou_sessyu/kodomo/20240401DPT-IPV-Hib.html

◆◆◆夏季から流行する感染症について◆◆◆

夏になると子どもを中心に患者数が増える感染症が、手足口病・咽頭結膜熱（プール熱）・ヘルパンギーナです。例年5～6月ごろから患者数が増え始め、7～8月に流行がピークとなります。

予防のポイントは、「こまめな石けんによる手洗い」「うがい」「咳エチケット」です。手洗いのタイミングは、帰宅後、調理前、食事前、トイレやおむつ交換の後です。また、日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめに消毒し、タオルの共有は避けましょう。

○大田区「手足口病」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/teashikuchibyou.html

○大田区「咽頭結膜熱（プール熱）」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/poolnetsu.html

○大田区「ヘルパンギーナ」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/herpangina.html

◆◆◆海外で流行している感染症について◆◆◆

海外で流行している感染症として、麻疹、デング熱、マラリアなどがあります。海外旅行前には渡航先の流行状況を必ず確認し、必要な感染対策を行いましょ。以下のURLから確認できます。

○厚生労働省検疫所 FORTH「国・地域別感染症流行情報」

<https://www.forth.go.jp/destinations/index.html>

○首相官邸 HP「海外での感染症対策」

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/kaigai.html>

2 食中毒発生状況

■大田区の食中毒発生状況

令和7年5月に食中毒は発生していません。

■東京都の食中毒発生状況

令和7年5月に、10件(患者53名)の食中毒が発生しました(令和7年6月15日現在)。食中毒の病因物質はノロウイルス2件(患者30名)、カンピロバクター1件(患者2名)、アニサキス5件(患者5名)、植物性自然毒1件(患者2名)、不明1件(患者14名)でした。原因施設は、飲食店(一般)でノロウイルス2件(患者30名)、カンピロバクター1件(患者2名)、アニサキス3件(患者3名)、病因物質不明1件(患者14名)、その他の施設で植物性自然毒1件(患者2名)、施設不明でアニサキス2件(患者2名)でした。

3 トピックス

■猫の適正飼養教室

～にゃんと、猫の気持ちがわかるかも。猫はかせへの道～

昨年の講演で大好評をいただいた東京農工大学特任准教授の入交眞巳獣医師を今年もお招きして、猫の適正飼養について講演していただきます。猫を飼っている方やこれから猫を迎えたいと考えている方など、皆様のご参加をお待ちしております！

【日程】 令和7年8月3日(日曜日)午後2時から午後4時まで

【会場】 Luz 大森4階 入新井集会室 大・小(大田区大森北一丁目10番14号)

※有料の駐車場はありますが、台数に限りがございますので、公共交通機関の利用にご協力をお願いします。

【定員】 100名程度 先着順(当日、満員になった場合はお断りすることがありますのであらかじめご了承ください。)

【費用】 無料

【申込方法】 不要 当日直接会場へお越しください。

※詳しくはホームページをご覧ください。

○ 大田区ホームページ 「猫の適正飼養教室」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/pet_dog_cat/oshirase/cat-breeding-lecture.html

■ハチの巣に関する相談専用電話<開設中!>

専門業者が相談をお受けします。私有地内の生活に支障のある場所につくられたスズメバ

チの巣は、土地や建物の管理者が依頼した場合、無料で撤去します。公共施設等にできたスズメバチの巣やスズメバチ以外の巣は対処方法をアドバイスします。

電話番号：03-5747-4010

受付期間：令和7年6月23日(月)から10月24日(金)まで（土・日曜日、祝日は除く）

受付時間：午前9時から午後5時まで

○大田区ホームページ「ハチの巣に関する相談専用電話」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/sumai_soudan/hati/hachisenyoudenwa.html

○大田区ホームページ「スズメバチとアシナガバチ」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/sumai_soudan/hati/suzume-asinagabati.html

4 【特集】蚊の対策をしましょう！

デング熱やジカ熱は、蚊を介して感染します。デング熱は、全世界では年間約1億人が発症しており、日本では海外で感染して帰国後発症する事例が、ここ数年増える傾向にあります。また、昨年9月には国内で感染したと考えられる事例もありました。身近にいる「やぶ蚊」のヒトスジシマカも感染症を媒介する能力を持っています。国内での感染症をまん延させないため、日ごろから蚊の対策をしましょう。

1 幼虫（ボウフラ）対策

「ボウフラ」は水中で成長します。特にヒトスジシマカは、ほんの小さな水溜まりで育つことができます。そのため不要な「溜まり水」をなくすことが有効です。

- (1) 水が溜まりやすい空き缶、空きビン、ペットボトル、古タイヤ、レジ袋、ビニールシート、鉢植えの受け皿など、不要なものは片付ける。
- (2) 必要な溜まり水（庭の汲み置き水や植木鉢の受け皿の水など）はこまめに交換する。
- (3) 雨水マスや側溝など清掃できる場所は、落ち葉やごみを取り除いて水を流れやすくする。

2 成虫の蚊の対策

成虫の蚊に対しては、侵入を防止したり、刺されることを防止したりすることが有効です。

- (1) 蚊が室内に入らないように、窓や戸などには網戸等を設置する。
- (2) 屋外では、できるだけ肌の露出が少ない衣服を着用する。

- (3) 必要に応じて、虫よけ剤を使用する。
(虫よけ剤を使用する時には、容器に記載されている注意事項を守って使用しましょう。)
- (4) 庭木や植栽は蚊の待機場所となるので、草刈りや剪定をして風通しをよくする。

※ 海外の蚊媒介感染症の流行地にでかける際は、蚊に刺されないように注意しましょう。長袖、長ズボンの着用が推奨されます。また虫よけ剤なども活用してください。

○大田区ホームページ「蚊」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/sumai_soudan/ka/ka.html

★「手洗い実験キット」の貸し出しをしています

大田区保健所では「手洗い実験キット」の貸し出しを実施しています。普段行う手洗いの状況を目で見て確認することができます。

「手洗い実験キット」の貸し出しを希望される方は、電話またはオンライン申請（LoGo フォーム）による申し込みができます。

【電話の場合】

大田区保健所生活衛生課（5764-0698）にお問い合わせください。

【オンライン申請（LoGo フォーム）の場合】

<https://logoform.jp/form/8BrJ/949830>

詳しくはこちらへ↓大田区のホームページ

○「手洗い実験キット」の貸し出しをしています

<https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/shokuhin/ippan/tearai-kit.html>

登録情報の変更・配信停止は以下 URL からお願いします。

<http://hokenjyo.city.ota.tokyo.jp/>

大田区保健所メールにご登録いただき、誠にありがとうございます。また、本メールの内容を充実させていきたいと考えております。

ご質問、ご意見、ご感想を以下のアドレスにお寄せください。

次号は、7月末に配信予定です。

eisei@city.ota.tokyo.jp 担当 高野 水野